

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2022年
3月号

Vol.69 No.803

巻頭言

再・未来からの投影 篠原健一

告 示

令和4・5年度代議員選挙結果について
令和4・5年度役員選挙

会 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会
2021年度第2回災害対策研修会

お知らせ

会費納入のお願い

特別企画

2022年新春座談会

研修会等申込書
登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2022
MAR

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 再・未来からの投影	会長 篠原健一 3
告示1 令和4・5年度代議員選挙結果について	選挙管理委員会 4
告示2 令和4・5年度役員選挙	選挙管理委員会 5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会	10
会告2 2021年度第2回災害対策研修会	SR推進委員会 11
会告3 第132回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 12
お知らせ1 会費納入のお願い	経理委員会 13
お知らせ2 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 14
お知らせ3 2020年度新入会員に対する入会特典について	16
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 17
特別企画 2022年新春座談会	18
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.1)	29
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	30
2021年4月～2022年1月期会員動向	31
2021年度第9回理事会報告	32
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39

Column & Information

・求人情報	31
・東放見聞録	35、36
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



再・未来からの投影

会長 篠原健一

東放技をお預かりして6期、11年目の年度末を迎えた。本年度を振り返り、新型コロナウイルス対応に関する本会会員をはじめ医療職の皆さま、そして日常生活に必要不可欠な業務（エッセンシャルサービス）に携わる皆さま、各種制約にご協力いただいている国民の皆さまに心より感謝を申し上げる。

本会においても、重要な公益事業である各自治体、職能団体における都民参加イベントなどの中止やセミナーの非対面開催など多くの制約があった。それでも、関係各位の努力により第37回日本診療放射線技師学術大会および第23回 AACRT、第28回 EACRTを対面＋各種 Webを組み合わせたハイブリッド方式にて開催することができた。学術大会実行委員会では、「あきらめない」「できない理由より、どうすればできるか考える」「成功したことをカウントする」「報・連・相＋提案」「誇りを持つ」を合言葉に進めていただいた。運営に参画していただいた多くの実行委員の貴重な経験と記憶を今後のために残せたと思っている。関係各位に御礼を申し上げる。

就任当時を振り返ると、11年前（2011年3月）には東日本大震災が起きた。あの未曾有の震災から1年後、就任後最初の年度末巻頭言（2012年3月）では冒頭にそのことが記されている。震災などへの備えも含めた意味で、タイトルは「未来からの投影」となっており、その言葉を残した故武見太郎氏（国民皆保険がスタートした時の日本医師会長）のことを書いた。望ましい姿・訪れるであろう未来から現在に投影して、今何をすべきか考えることがビジョンであると常々仰っていた方である。

—— 武見氏は、いつか必ず出現する未知の感染症に備えるため中国に感染症専門の研究施設を造り（支援）、それは実際に2002年に広東省で発生したSARS（重症急性呼吸器症候群）制圧に役立ったという。物事を延長線上に考えていると後手に回ってしまう。つまり、対症療法だけでは単なる「もぐらたたき」で終始してしまうということだ。—— （東京放射線2012年3月号巻頭言より抜粋）

大震災から始まった任期、そして現在の感染症対応というのを予言してしまったような巻頭言に、その稚拙な文章も合わせ失笑してしまったが、11年前のサーベイ活動や被災地対応に尽力していただいた会員各位や、冒頭に記した現在の皆さまの活動には心より感謝し敬意を表する次第である。

震災と感染に挟まれたような書き方で失礼したが、この間の各種業務拡大への取り組みや、組織改革へのご理解とご協力にも感謝申し上げます。そして、現在喫緊の課題として、厚生労働省指定のいわゆる「告示研修」の推進がある。医師の働き方改革、タスク・シフト／シェアを推進するために、診療放射線技師法の改正が含まれた「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が昨年5月28日に公布となり、10月1日施行となった。これによる業務拡大において、現行制度上で実施できない行為については、法令が改正されれば養成課程において必要な教育内容を追加するとともに、既に国家資格を取得済みの方々においては、厚生労働大臣が指定する告示研修を受講することが義務付けられている。昨年9月に予定していた今後の告示研修を担うファシリテーター養成講習会が緊急事態宣言延長により延期となったが、南関東地域では12月に山梨県で開催することができた。今後は各都道府県単位で研修会を開催することになる。従来の統一講習会とともに、日本診療放射線技師会と協力しながらあるべき姿を目指し「未来から投影」された事業を推進する。

会員諸氏のご理解とご協力をお願いする次第である。

告 示 1

公益社団法人東京都診療放射線技師会 令和4・5年度代議員選挙結果について

令和4年3月1日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員会 委員長 島田 勇佑

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款第12条・第13条ならびに代議員選出規程第5条に基づき実施した、全16地区の令和4・5年度代議員選挙、予備代議員選挙結果を告示する。

代議員ならびに予備代議員については、すべての地区において定数内立候補であり、立候補した代議員74名、予備代議員11名の当選を認め代議員名簿を以下に示す。

地区代議員

地区	代議員定数	代議員氏名				予備代議員氏名
第1地区	3	伊東 敬浩	針ヶ谷 健介	根本 祐子		小林 真一
第2地区	4	熱田 雅城	阿蘇 敏樹	永峯 侑菜		大澤 史佳
第3地区	6	田中 志穂	相場 真吾	新島 友輝	押部 千沙都	向本 哲生
		今松 和輝	市野 智史			
第4地区	6	目黒 一浩	高橋 潤一郎	伊藤 裕章	岡 雄介	後藤 太作
		中西 崇仁	丸山 大樹			
第5地区	5	中村 浩英	稲毛 秀一	大貫 弘二	片野 健太	
		北野 りえ				
第6地区	4	高橋 克行	片岡 剛	米澤 俊和	佐藤 由希子	岡部 博之
第7地区	5	岩崎 正浩	宇賀神 哲也	山城 淳	宝田 光夫	
第8地区	6	鎌田 治	大津 元春	小野寺 裕一	中西 雄一	勝部 祐司
		片岡 瑠香	浦田 尚吾			
第9地区	5	比内 聖紀	白鳥 洋子	西郷 洋子	内山 喜代志	
		福田 一志				
第10地区	4	小西 智誠	澤田 恒久	渡辺 直樹		
第11地区	3	名古 安伸	千葉 利昭	南山 諒輔		諸岡 達朗
第12地区	3	伊藤 俊一	高坂 知靖	杉田 亜紗実		甲斐 麻記子
第13地区	12	川崎 政士	笹沼 和智	黒田 誠	清水 賢均	熊谷 果南
		崎浜 秀幸	首藤 淳	上利 武生	山下 晃司	
		城尾 俊	菊池 悟	藤村 耕平	新田 忠弘	
第14地区	4	河手 健	高林 正人	安藤 健一	大塚 竜登	佐藤 修
第15地区	4	松井 幹	池田 麻依	樋口 高裕	元島 祐介	垣地 紗希
第16地区	3	大原 諒太	森下 沙羅	川島 修一		

※当選証書は当選者に郵送致します。3月27日(日)を過ぎてもお手元に届かない場合は、恐れ入りますが東京都診療放射線技師会事務所までご連絡くださるようお願い致します。

告 示 2

公益社団法人東京都診療放射線技師会 令和4・5年度役員選挙

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款第25条・第26条および役員選出規程に基づき、
令和4・5年度役員選出を下記の通り告示する。

記

- | | | |
|------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 役員の定数 | 理 事（会長を含む） | 15名以上20名以内 |
| | *会長候補として理事に立候補することも可能 | |
| | 監 事（会員） | 1名 |
| | 監 事（会員外部） | 1名 |
| 2. 立候補、推薦候補届出締切日 | 令和4年3月31日（木） | 午後5時00分 |
| 3. 投票日 | 令和4年6月18日（土） | * 第73回定期総会開催日 |
| 4. 開票日 | 令和4年6月18日（土） | * 第73回定期総会開催日 |

以上、告示する

令和4年3月1日

公益社団法人東京都診療放射線技師会

選挙管理委員会

委員長 島田 勇佑

委 員 吉田 大志

檜田 伸治

渡部 史也

浜野 安淳

公益社団法人東京都診療放射線技師会 令和4・5年度役員選挙

理事会推薦 外部監事

外部監事は、監督官庁の指導により理事会推薦の会員以外の者である。

令和4年3月1日

公益社団法人東京都診療放射線技師会

選挙管理委員会

委員長 島田 勇佑

委員 吉田 大志

檜田 伸治

渡部 史也

浜野 安淳

公益社団法人東京都診療放射線技師会 令和4・5年度役員選挙の実施について

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員会 委員長 島田 勇佑

告示の通り、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会にて、令和4・5年度の役員選出を行います。次の事項に留意願います。

1. 立候補または候補者推薦代表者は、必ず立候補締切日までに所定の書式に従い、選挙管理委員会に届けること（書式については、次ページ以降に掲載）。
2. 届出締め切り日時は、令和4年3月31日（木）午後5時00分とし、締め切りまでに選挙管理委員会に郵送及び持参したもののみ受理し、一切の遅延は認めない。なお電話やFAX及びメールなどの届出も認めない。

【送付先】

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
公益社団法人東京都診療放射線技師会 選挙管理委員会

3. 立候補者、推薦者並びに被推薦候補者の氏名は、すべて自筆とし、必ず捺印のこと。サイン（拇印）は認めない。
4. 対立候補を中傷するような一切の行為を禁止する。
5. 推薦しようとする者は、定数を超過して同じ役職の候補者を推薦することができない。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員選出規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会定款（以下、「定款」という。）第25条に定める役員選出のための選挙に関して規定する。

(選挙権)

第2条 定款第12条により代議員として登録されたものは、この規程に定める選出につき選挙権を有する。

(被選挙権)

第3条 定款第25条に定める役員に立候補する者は、引き続き5ヶ年以上正会員としての資格を有する者でなければならない。

- 2 監事に立候補する者は法人業務及び会計監査に精通した者であり、1名は会員以外の者でなくてはならない。

(立候補届)

第4条 会長、監事に立候補する者は、立候補届【様式7】に、正会員30名以上連署の推薦書を付して、選挙管理委員会に届けなければならない。

- 2 理事に立候補する者は、立候補届【様式7】に、正会員10名以上連署の推薦書を付して、選挙管理委員会に届けなければならない。
- 3 選挙管理委員会は、候補者が定数に満たない場合は、選挙の10日前までに立候補者の届出を受けることができる。
- 4 選挙10日前までに候補者が定数に満たなかった場合は、理事会が候補者を推薦することができる。

(選挙及び投開票)

第5条 選挙は候補者について総会出席代議員の投票によって行う。

- 2 開票は、総会で行う。
- 3 当選は、得票数の高点順位によって定める。定員の終位が同点で当選が定められない場合は、その者につき決選投票によって定める。ただし、会長候補者については最高得点者が投票総数の過半数に満たないときは、上位2名につき決選投票を行う。
- 4 候補者が定数のときは、会長候補者にあつては総会において出席代議員の信任投票を行い、その他は無投票当選とする。

(改 廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の決議によるものとする。

附 則

- 1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人設立の登記の日から施行する。
- 2 この規程は、平成24年5月26日改正、施行する。
- 3 この規程は、平成26年12月6日改正、施行する。
- 4 この規程は、平成29年6月18日改正、施行する。
- 5 この規程は、平成30年3月1日改正、施行する。

【様式7】

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員長 殿

立 候 補 届

立候補者名： _____ 印 性別： 男・女 年齢： _____ 歳

勤 務 先： _____

電 話： _____

私は、今般行われる公益社団法人東京都診療放射線技師会の役員選出に際し、
推薦者の連署書を添え _____ に立候補いたします。

推薦者名簿

	勤 務 先	氏 名	印
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

注意：自筆署名捺印のこと（ゴム印・拇印は不可）

受 付
委員長承認

年 月 日
印



公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会 開催の件

本会定款第14条に基づき下記の通り、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会を開催致します。

記

開 催 日：2022年6月18日（土）

会 場：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

2021年度 第2回災害対策研修会

テーマ「緊急被ばく医療研修会 ～3.11を風化させない～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、本年度も研修会を企画しました。

本年度はサーベイメーターの特性とサーベイ方法などについて実習を実施し、サーベイヤーの育成を図りたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては研修会開催を中止する場合があります。

(参加応募者には開催1週間前を目途に開催の可否についてご連絡致します)

記

日 時：2022年3月13日(日) 13時00分～16時30分(受付開始12時30分～)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：15名(先着順)

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円(当日徴収)

申 込 方 法：東放技ホームページ(<https://www.tart.jp/>)の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申 込 期 間：2022年2月1日(火)～3月11日(金)

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第132回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「ちょっと教えて！フラットパネル」 ～基本的な構造から画像処理まで～

講師：富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 坂本 真俊 氏

第132回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回は、基本的なシステム構造から最新技術といった医療現場で求められている進化したフラットパネルについて説明していただきます。そして、日常業務において画像の品質管理など直接携わる処理技術についても講義していただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年4月27日（水）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

～会員の皆さまへ～

会費納入のお願い

経理委員会

会員の皆さまには、平素より公益社団法人東京都診療放射線技師会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、今年度の会費納入をお忘れの方は、お手元の払込用紙をご利用のうえ早急に納入していただきますようお願い致します。

なお、会費未納期間2年以上の会員については、退会の手続きを致しておりますのでご注意ください。ご不明な点は事務所までお問い合わせください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

日本診療放射線技師会の会費収納につきましては、2021年10月2日開催の第3回理事会にて、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、2022年4月1日付け会費未納による除籍者より債権の回収委託を開始致します。

日本診療放射線技師会では定款第8条にて「会員は（中略）会費を納入しなければならない」と定めており、同じく第9条3項では「2年以上の会費未納入の場合には会員資格の喪失」と記載されております。

また、入退会等に関する規定第2章第2条、会費納入規定第2章第2条、第3条および第3条2項によって会員は会費の納入義務を負っております。

これまではこの規定について、再入会申し込みの際に一部でご理解をいただくまでに労力を費やしてりましたが、今後は明確化できるものと考えております。

また、「東京都診療放射線技師会会費」に未納がある場合も合算請求をしていますので、同様に未収会費を回収委託する対応を致します。

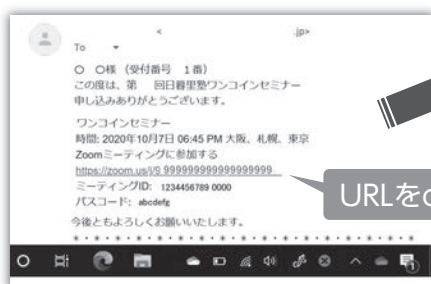
この件に関するご質問は、日本診療放射線技師会財務理事が担当させていただきます。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

東放技 Web開催研修会等受講方法について

【Zoom参加手順】

メールURLより



URLをクリック!

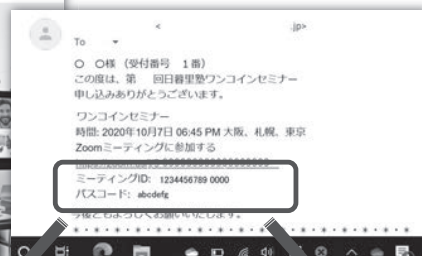


システムダイアログが表示したら、**Zoom Meetingsを開く**をクリックしてくださいを実行してください。



開催時間になると入室できます

Zoomホームページより



ミーティングID:
を入力してください



パスコード: を
入力してください



開催時間になると入室できます

※注意点として

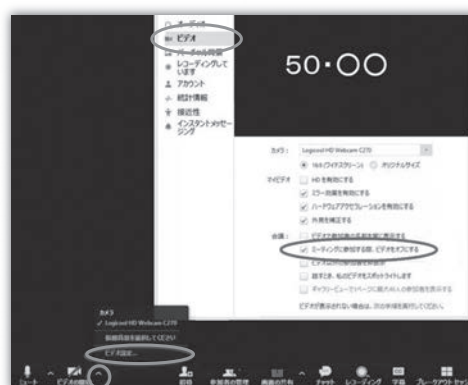
①「参加者」より
名前を入力してください



②「マイクをミュートにする」
にしてください



③「ビデオをオフにする」
にしてください



確認をお願い致します



当日はよろしくお願い致します

お知らせ 3

2020年度新入会員に対する入会特典について

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、皆さまの健康と安全を第一に考慮しました結果、2020年2月より研修会などの活動を自粛してきました。

新卒かつ新入会員の皆さまが本来受けられる会員特典のひとつである、本会主催の一部研修会（下記参照）の無料受講が、2020年度においては実施されることが少なかった状況を見て、2020年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、2021年度も無料期間とすることに2020年度第3回理事会にて承認されたことをお知らせします。

【新卒かつ新入会員の受講料無料事業】

- ・サマーセミナー
- ・ウインターセミナー
- ・日暮里塾ワンコインセミナー
- ・東放技・東京支部合同学術講演会
- ・支部研修会
- ・地区研修会 等

※2021年度の新卒かつ新入会員の皆さまにおいては、本会規程の通り上記イベントは無料です。

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。



公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

第37回 JCRT (日本診療放射線技師学術大会) について



代表理事・会長、
大会長

篠原健一



理事・副会長、
副大会長

白木 尚



理事・副会長、
副大会長

麻生智彦



理事・教育委員長、
実行委員長

市川重司



業務執理事・庶務委員長、
副実行委員長

野口幸作



理事・学術委員長、
副実行委員長

市川篤志

はじめに

篠原大会長：本日はお集まりいただき、ありがとうございます。今年もよろしくお願いします。

一同：よろしくお願いします。

篠原大会長：今回の座談会は、本年度の大きな事



業であった第37回日本診療放射線技師学術大会（以下、第37回JCRT）および合同開催したAACRTとEACRTを振り返っていただくために、実行委員長をはじめ、副大会長、副実行委員長にお集まりいただきました。

新型コロナウイルス感染症対策によって、残念ながら海外から来日しての参加は取りやめになり、国内も一部対面、一部Webのハイブリッド開催になりましたが、参加者各位および実行委員長をはじめ、スタッフの皆さまのご協力により予定の日程で開催できたことに改めて感謝を申し上げたいと思います。

2019年に白木実行委員長の下、関東甲信越診療放射線技師学術大会（以下、関東甲信越学術大会）を開催し、その2年後に市川重司実行委員長により今回の学術大会開催と、短い期間の中で大変ご苦勞をお掛けしました。

関東甲信越学術大会は1都9県の輪番制ですので、10年ごとに開催担当が回ってきます。第

37回JCRTについては、2015年に日本診療放射線技師会 中澤前会長と共にシンガポールでAACRTに立候補し、2021年開催が決まったと同時に第37回JCRT東京大会が決まりました。

海外からはWebでの参加のみとなるなど、当初の計画とは違やかたちになりましたが、実行委員会ではあれもできない、これも駄目とは考えずに、このようなことができる、このようにしたらどうだろうかと、次の時代、新たな社会につながることを考えようと企画したつもりです。

まずは皆さまに、関東甲信越学術大会も併せて本学術大会に懸けたそれぞれの思い入れなどについてお話ししていただきたいと思います。

学術大会に懸けたそれぞれの思い入れ

篠原大会長：まずは市川重司実行委員長、いかがでしょうか。

市川重司実行委員長：会長のお話にあったように、2019年6月に関東甲信越学術大会が終了しました。そしてその年の10月13日には準備会議を、確かJARTの事務所で行っています。ですから、半年もたっていない状況で、本大会の準備が動き出したことになります。

私は実行委員長を仰せつかり、まだ関東甲信越学術大会の整理がつかない状態の中でスタートを切りました。何をしたらいいかと、かなりばたばたしていたこと、そしてその年の暮れの役員研修会でキックオフのスライドを作らせていただき、集まった方に見ていただいて、この



ようなかたちで進めていきますと発表した、2年前のことが思い出されます。

篠原大会長：ありがとうございます。続いて、2019年に関東甲信越学術大会実行委員長を務められた白木副大会長からお願いします。

白木副大会長：今回、私も篠原会長や市川重司実行委員長のおっしゃる通り、関東甲信越学術大会での経験が生かせればと思って臨みました。私は本大会ではなく関東甲信越学術大会の実行委員長でよかったと内心思ったと同時に、市川実行委員長はさぞかし大変だろうなと思いました。

準備を進めていく中で、やがて新型コロナウイルス感染症に^{ほんろう}翻弄されることになりましたが、先が見えない状況の中、第37回JCRTは必ずやろうという意気込みは決しておれませんでしたし、どのような状況でもハイブリッド開催の方向でやっていこうと一同決断していたので、私もその思いに乗って少しでも前回の経験を生かして精一杯進めていきたいと臨みました。

篠原大会長：では、続いて麻生副大会長。

麻生副大会長：私は2年前に副会長になりましたが、もう既に準備委員会や大会準備に関しては進行している状況であったことを今でも覚えています。当初、新型コロナウイルス感染症が騒がれていましたが、楽観視していたと思います。開催の頃には落ち着いて通常の対面開催ができるだろうという見通しを立てていましたので、想像以上に新型コロナウイルス感染症の影響が甚大であったことが印象的です。

大会が終わり振り返ると、あの時期になぜ感染者が治まったのだらうと疑うぐらい状況は非常に落ち着いていました。しかもハイブリッド



で準備してきて、問題なく理想通りに開催できたことは何よりであったと思います。

そのような中で、私の役割としては協賛関係をお願いすることでした。とにかく大会企画に参画していただきたいと、各企業さんと連絡や連携を取りながら、趣意と企画の説明や今大会の運営方法等を細かく説明してきました。今まで私が蓄積してきた経験で、少しでもこの大会を実りあるものにしたいという思いでメールや電話、そして直接企業さんに出向いて進めました。開催準備の途中から仲間入りさせていただきましたが、私なりに一生懸命やり通したつもりであります。

白木副大会長：今回、第37回JCRTを開催するに当たって麻生副大会長が新規参画されました。私も前回の関東甲信越学術大会の時に協賛関係で結構走り回った思いがありますが、麻生副大会長の尽力は本当にすごかったです。あの活躍は忘れられません。

篠原大会長：続いて野口副実行委員長、お願いします。

野口副実行委員長：先ほど、大会実行委員長は2019年から動いていたと話されましたが、立候補届は2018年10月31日付でJARTに提出しています。会場もその時点でビッグサイトと名前を入れたかたちで申請を出していますから、2018年度に入ってから会場選定に動いていたので、私の中では本当に動きだしは早かったですし、関東甲信越学術大会と並列して動いていたという思いはあります。

白木副大会長：そのときにビッグサイトが取れていたのですね。

野口副実行委員長：東京都庁の部長にお願いして

東京観光財団を紹介していただき、そこを經由で対応しました。東京モーターショーの兼ね合いで、そこであればいけるということで進めていけました。

本題のこの大会に懸けた思いですが、大会実行委員長がハイブリッド開催と言い出してしまったので(笑)、私の中ではそれに向けてやれることをやれるだけやっていくという思いがありました。懸けた思いはそれに行き着くまでに一生懸命いろいろなことをやってきたという思いではあります。本当にいい経験をさせていただきましたし、良い学術大会だったと思っています。

白木副大会長：始めた頃は、まだハイブリッド開催ではありませんでしたよね。

野口副実行委員長：もちろんです。途中からの話ですが、どうしても新型コロナウイルス感染症の状況になったので、ハイブリッド開催という流れになりました。

白木副大会長：普通にできていればよかったですね。

野口副実行委員長：会場型だけですよ。

市川重司実行委員長：最初の調整会議では、ハイブリッドという言葉はありません。2020年の秋ごろの会議でハイブリッドという言葉が使われたと記憶しています。

麻生副大会長：当初は対面でできずにWebになるだろうという中で、対面であれば対面、WebであればWebだけの方がおそらく労力は少なかったと思います。ハイブリッドになって逆に倍以上、お金がかかりますし、苦労もかかったと思います。実行委員長と副実行委員長は、親子と言っても良いくらいの関係で毎日東放技事務



所に詰めていたと思います。

野口副実行委員長：その件に関しては、後でいろいろ言わせていただきます（笑）。

麻生副大会長：やはりそこが成功した一つの大きな要因ではないかと思っています。

市川重司実行委員長：ハイブリッドを提案したのは私です。その話をしているかどうか分かりませんが、4月1日以降に緊急事態宣言が出て、学会は全てストップしましたよね。もう、ぐうの音も出ませんでした。東放技の事業も全て止まりました。しかし巷では、後半には事業ができるのではないかという推測でした。

Zoomなど、オンラインというツールが急速に進歩してきました。あちらこちらで勉強会はオンラインとなり、学会もオンラインで開催しようということで、秋に向けてオンラインの学会が散見されるようになりました。それが2020年6月、7月ぐらいでしたよね。

このようにやるのかと言うことで、われわれもできないかと考えました。ただ、2021年11月までには大丈夫だと私も思っていました。この夏を越えれば絶対に感染は落ちると踏んでいたのですが、駄目でした。

ハイブリッドとは何だろうと思いましたが、会場で開催し、かつ来れない人はオンラインで開催するというので、このような開催方式があるのかと思いました。しかし、多くは、準備はしたが、会場開催はできず、オンライン開催のみになるケースがほとんどでありました。ハイブリッド開催を提案したのは2020年の秋の

終わりぐらいだったと思います。開催まであと1年というときでした。日本旅行にはハイブリッド開催を相談し、無茶な企画案に対して、ご意見を伺いました。

篠原大会長：皆さまも状況が刻々と変わるといいますか、予想しなかったことになっていくご苦労はありましたが、やり遂げようという思いが強かったので、成功したと思います。

続いて、市川篤志副実行委員長、お願いします。

市川篤志副実行委員長：私は、関東甲信越学術大会では一から携わったわけではなく、いきなり全国大会で一から携わるかたちになり、初めてでかなり不安が多かったです。野口副実行委員長に怒られてしまうかもしれませんが、本当はやめたい、降りたいというのが正直なところでした（笑）。

とにかく皆さまの足を引っ張らないようにしなければいけない、自分のできることは最善を尽くす、できるだけ会議に参加しようとか、いろいろと考えました。ただ、施設の業務と重なってしまったりして調整が結構大変でした。それと新型コロナウイルス感染症がまん延してしまい、決めなくてはいけないこと、やらなくてはいけないことが進められなくなり、とても大変でした。そのような中で学会が成功したのは、本当にひとえに皆さまのおかげだったと思っています。

それこそ先ほどお話にあったように、学会開催が決定したころは新型コロナウイルス感染症





がなかったので、120%で頑張ろうと思っていましたが、新型コロナウイルス感染症があり、ハイブリッドになると言われたので、それ以上に、200%で頑張らせていただいてとても楽しくできました。

白木副大会長：いえいえ、市川篤志副実行委員長は500%でやってくださいました。活躍はすごかったです。

市川篤志副実行委員長：ありがとうございます。

第37回JCRTを終えて感じたこと

篠原大会長：皆さまに学術大会への思いを伺うと、苦勞したことの方が多かったことは言うまでもないと思いますが、一番苦勞したところや、それでも楽しかったところなど振り返ってみていかがでしょうか？

私、大会長としては、日頃の会務でもそうですが、いつも掛け声ばかりで、皆さまにご苦勞をお掛けして申し訳ありません。本学術大会で大変だったことは、先の見えない新型コロナウイルス感染症対策、対応の影響により、海外から来日しての参加が取りやめになったり、国内もどのようになるか見えなかったりしたことがまず挙げられます。

また、一番楽しみにしていた情報交換会ができなかったことはとても残念ですが、先ほど言いましたように、この学術大会は必ず次世代へつながる取り組みだったと思っており、新たな挑戦という意味では非常にわくわくしていました。そして、実行委員の皆さまがそれぞれ自分



で考えて行動している姿は非常に頼もしく、うれしく、それを楽しく感じていました。

皆さまもぜひ苦勞話、プラスこのようなことが良かった、このようなことは楽しかったなどをお話いただければと思います。順番関係なく、どうぞ。

市川重司実行委員長：では、楽しいことからお話をします。会期まであと1カ月となったときは本当にできるのかという危機感がありました。思ったのは、地区の担当の実行委員、要するに当日会場で動いてくれる実行委員が一番大事なので、そこをコントロールしなければいけないと思い、地区を代表している5名の実行委員にお願いしました。その方々がいろいろと走り回ってくださり、会場担当者が、次から次へと決まっていくのが、楽しくてしょうがなかったです。

これは学会に乗り込む東京都診療放射線技師会の魂といいますか、徐々に一体感が具現化していくようで、この会場はこの人が担当してくれる、というように、協力者が次々に決まっていくのを見て、これは面白いと思いました。

朝、メールを見ると、50件、100件と来ていますが、学会はとても楽しいなと思いました。もともと学会が大好きなので、それを楽しく受け止めている自分がいました。それは今も同じ思いです。

大変だったことは、またその時期です。本当にできるのかと、自問自答しながら苦しんでいました。皆さまの協力があったからこそだと思っています。特に演題関係は、発表される皆さまも新型コロナウイルス感染症で右往左往していて、業務がとても大変な中、スライドを作



成し、発表にこぎつけるわけなので、それを実現させなければという責務もあり、辛くもあった時期です。1カ月間は楽しくもあり、辛く歯を食いしばった時期でもありました。

白木副大会長：今日の座談会は6名ですが、その他にも地区を取りまとめてくれた担当実行委員の方など本当によくやってくれて、みんなの力でできたというのはまさに市川重司実行委員長がおっしゃる通りです。私が感じたことは、自分的には残念なことで驚いたことという印象になりますが、先ほど篠原会長がおっしゃった通り、情報交換会ができなかったことは本当に残念です。残念なことはそれぐらいです。

そして驚いたことは、本会の会員で衆議院議員の畦元将吾代議士の働きで、開会式に何と岸田総理大臣から祝電が届いたことは驚きました。びっくりしました。この業界の学術大会で現役の総理大臣からそのようなメッセージが届くのは、恐らく初めてだったのではないかと思います。とても感動した一瞬でした。

麻生副大会長：私は先ほど話した通り、担当が協賛だったこともあり、ランチョンや各セミナーには資金がかかるので了解を取るのには苦労しました。

いざ了解を取ってから、座長は最低でも会場に来ていただく方針でしたから、お願いして受けていただいたのは良かったですが、その時期は、かなり感染症がピークになっており実効再生産数も上がっていましたので、誰も座長を受けていただけない、如何しましょうかという相談が多々ありました。私が何でもできる範囲はやりますという話をしたところ、全ての行程の各セミナーの座長を引き受けることになり

ました。

白木副大会長：あれはすごかったです。

麻生副大会長：モーニングとランチョン、ティーセミナーがありましたが、それだけでマックス5件やりながら、実際には日本診療放射線技師会の検査説明分科会の座長や東京都診療放射線技師会企画の原発事故の座長もさせていただいて、全日程で7つの出番でした。

野口副実行委員長：実行委員控室にほぼいらっしやらなかったですね。

麻生副大会長：はい。だから、本当に大会運営は皆さまにお願いするしかなかったのですが、大会当日からは、自分の引き受けた時間単位の責務をひたすらこなしている間に、逆にそれが楽しみのようになっていて、言いかえると踊っているようで、あっという間に大会が閉会してしまいました。自分の記憶の中でも、こんなに学会場にずっと浸っていたことがなく、逆にそこが凄く楽しかったと印象に残っております。

白木副大会長：担当された機器展示のオープニングセレモニーのときにごあいさつされていましたが、その後、いろいろな企業の方が私のところにも良かったですねと来てくれました。オープニングセレモニーはとても良かった、やってくれてありがとうと言っていました。

麻生副大会長：本当に良かったです。

篠原大会長：野口副実行委員長は苦労したことを話すと、たぶん2～3時間しゃべると思いますので、ぜひ楽しかったことや良かったことを中心にお話してください。

野口副実行委員長：苦労話は長くなってしまいます。一番苦労したのは、市川重司実行委員長のわがままに付いていくこと（笑）、これは本当に



苦労しました。

市川重司実行委員長：楽しかったことも付いてきましたよね。

野口副実行委員長：そうですね。

白木副大会長：活字にしてしまってもいいのではないですか。

篠原大会長：いいですね。

野口副実行委員長：わがままは語弊がありますが（笑）。

白木副大会長：言い方を変えますか。

野口副実行委員長：これはこのまま残してもいいかと思っています。

市川重司実行委員長：いいのではないですか。

野口副実行委員長：実行委員長が、本当に学会をどのようにすれば動かせるか、どのように成功に導くかという考えをいろいろ展開していくのですが、このようにすればうまくいくのではないか、このようにすればいいと、きちんと理路整然と説明してくれますし、それに共感できたので付いていけたと思っています。

昼夜を問わず電話をしたり、メールやLINEをしたり、いろんな手段で情報共有しました。実行委員長がいつも歯を食いしばりながら、笑顔で動いている後ろ姿を見させていただいたのが私はすごく良かったと思っています。わがままという言葉はいい意味でのわがままだと捉えていただければ、うれしいと思います。今日は苦労話としてそれが言いたかったことです。

白木副大会長：楽しかったことはどうですか。それも含めてですか。

野口副実行委員長：それも含めて、一緒に行動できたのが楽しかったです。

市川重司実行委員長：実際はそうですね。とんとん拍子には絶対にいかないです。

白木副大会長：そうですね。

市川重司実行委員長：私もいろいろなアイデアを出しましたが、全てが全て自分の言っていることは正しいとは思っていないですし、いろいろな方にこれはどうだろう、あれはどうだろう、ああだ、こうだと聞きながら進めていきました。時には賛同を得られずに、寂しい思いをしたこともありました。

大会長が言ったように、あれもできない、これもできないではなく、これもできるのではな



いか、あれもできるのではないかと、やってみようというスタンスで取り組みました。そして、いろいろ考えて言葉にしてみんなに伝えて、これはできるかもしれない、これは厳しいかもしれないが、もう少し工夫をすればうまくいくのではないかと、などなどを土俵に上げて、みんなから意見をいただき、少しずつ前に進んでいったのが今回の学術大会だったと思います。

白木副大会長：苦労話として、今回ハイブリッドになって演題登録の人やいろいろな問い合わせがすごかったのではないですか。

市川重司実行委員長：ええ。

白木副大会長：その問い合わせ全てに市川重司実行委員長は対応していました。先ほどメールが50件から100件と言っていましたが、その中に問い合わせメールもあったと思います。あれは本当に大変だったのではないですか。

市川重司実行委員長：実行委員長という立場だったので来たというのにはありますが、毎回、学術大会ではあのようなやり取りをしているのかと思いました。

白木副大会長：あんなにメールは多くなかったです。

市川重司実行委員長：ここはオフレコになってしまいましたが、あのようなやりとりがもう少し少なくなる学術大会の運営の仕方が、私は必要ではないかと思っています。

白木副大会長：確かにそうです。でも、今後に残すために、今の話は大事かもしれません。

麻生副大会長：どのような問い合わせが多かったかは、残すことでつながりますよね。

市川重司実行委員長：そうですね。ですから反省ではないですが、次の学術大会に引き継げるも



のは東京都として今回やったことを残し、それを次にバトンタッチしたいです。今、兵庫県からたまに電話が来ますので、このようなところに注意すればという話をしています。

白木副大会長：とにかく問い合わせが多かったですね。

市川重司実行委員長：そうですね。

野口副実行委員長：メールを開くのが怖かったです（笑）。何十件も問い合わせがありましたよね。

市川重司実行委員長：常識外れな質問とは、このようなことかと思うこともありました。

白木副大会長：市川重司実行委員長と野口副実行委員長がかなり対応していました。

野口副実行委員長：実行委員長が返さないと、私かという感じでいました。

白木副大会長：大きな苦勞だったと思います。

篠原大会長：市川篤志副実行委員長は日常的に学術担当理事ですが、学術担当理事として本大会はどうでしたか。

市川篤志副実行委員長：取りあえず楽しかったといえますか、本当にラッキーだったのは、ちょうど新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきた期間だったので、できて良かったというのはありませんし、ちょうど期間中は晴れだったこともあり、とても良かったと思いました。

参加者も新型コロナウイルス感染症が若干減ったとは言え、多くの方に来ていただけたのは、ありがたかったですし、大変良かったと思いました。

先ほどの話に戻ってしまいますが、たくさんメールが来ていたので、全部読むのが大変で、私は把握しきれていない部分が結構多かったで

す。期間中、実際に会場にこない講師の方がいたり、演者が来ていなかったり、トラブルではないですが、自分が把握していなかったため、分からずに受付まで行って問い合わせをしたり、行き違いが結構ありました。

なかなかメールを全部処理しきれておらず、その辺りは反省するところだったかと思います。

白木副大会長：その辺りはハイブリッドの難しさといえますか、次に改善できることではないかと思います。

市川篤志副実行委員長：見きれなかったもので、皆さまはよく見ていると思いました。午前中に何十件と来て、午前中に見たのに、また午後になると、何十件と来ているではないですか。あれはいじめのようでした（笑）。

市川重司実行委員長：今回は幸か不幸か。自分が病院勤務であれば、少し厳しかったかもしれないです。

白木副大会長：確かに。現場があると無理ですね。

麻生副大会長：そうですね。難しいですね。

市川重司実行委員長：このような立場でいたので、常にメールを見れる状況にあったことはラッキーだったかと思います。

皆さまも同じですが、業務をされている人もすごく多く、やはり大変ですから、自分がやらなければいけないことはこのようなことだと思っていましたので、メールなどの問い合わせはとにかく積極的に見るようにしていました。

篠原大会長：皆さまのお話を聞くと、いろいろやりきれた部分もあれば、やりきれなかった部分もあったりして、これは当然だと思いますが、それでもウィズコロナの時代を見据えて、さまざまな挑戦ができたことは非常に良かった



と思っています。いろいろな制約を乗り越えて、新たな時代のために残したことは大きいと思います。

未来の東京都診療放射線技師会に向けて

篠原大会長：では、本日の座談会の締めとして、未来の東京都診療放射線技師会に向けて、この学術大会や会務運営、来年度の抱負も含めて提言があればお願いしたいと思います。

市川重司実行委員長：学術大会を踏まえて、私は皆さまから大きな力を頂いたと思っています。大きな学術大会をやったという成果は、皆さまも本当に胸を張っていただいていると思います。そしてそれを新しい時代、新しい東京都診療放射線技師会に継承し、人と人とのつながりを大事にしていきたいと思っています。またいつしか順番が回ってきたり、大きなイベントがあったりしたときには、この力を再結集していただいて、大きなことをやっていただければいいのではないかとと思っています。

学術大会での3日間、朝礼をするので集まってくれたのではないですか。皆さんは嫌な顔一つせずに、眠い人もいたと思いますが、笑顔で集まっていただきました。東京都診療放射線技師会は常にそのような笑顔でこれからもまい進していただければいいのかと思います。

白木副大会長：私が今後のために残せたことは、JARTの学術大会でハイブリッド開催は初めて

ですが、皆さまの尽力で何とか基本設計のようなものが示せたかと思っています。恐らくこれからこのようなハイブリッド開催が続くと思いますが、その都度、ブラッシュアップしていくことを期待しています。

それから、私が感じたハイブリッドの良かった部分で一番大きいのは、学術大会では自分の視聴したいセッションがどうしてもかぶりますが、それがオンデマンドで後からじっくり繰り返し聞けたことはとても大きかったです。

地元開催なので私は直接関係ないですが、地方の方々の宿泊・交通費、時間的な負担がだいぶ軽減されて、これが新しい学術大会のかたちになっていくのではないかと実感しています。先ほど市川重司実行委員長がおっしゃいましたが、実行委員の方々は延べ300名ぐらいですか。

野口副実行委員長：それぐらいです。

市川重司実行委員長：300名はいると思います。

白木副大会長：実行委員一人一人がとても献身的に取り組み結集した結果、できたのではないかとと思っています。学術大会の開催は、初めはとても荷物が大きいですが、やればできるのだと感じた一瞬です。これを経験した人は本当にこれからの財産になるので、たぶん野口副実行委員長は次に実行委員長をやると思います(笑)。

野口副実行委員長：何の話かよく分からないです(笑)。

白木副大会長：延べ300名の方々が経験できたことは、大きな財産を残したのではないかとと思っています。

学術大会以外で今後の私の抱負をお話ししま



すと、私はご存じの通り還暦を過ぎ、本当に長い時間、役員をやらせていただいています、今後はその経験を縁の下でつなげていきたいですし、できる限り協力できればと思っています。

麻生副大会長：私は総括的な感じですが、新型コロナウイルス感染症のせいではなく、新型コロナウイルス感染症のおかげでという方がすごく合っていて、それができたのはとても良かったです。要するに、新型コロナウイルス感染症も初めはアルファ、ベータ、今はオミクロンになって進化している生き物ですが、学会もやはり生き物なのだと。だから、我々もそれに負けずに、今回は新型コロナウイルス感染症のおかげで進化できたのではないかと思います。

この進化をいかに後世に残すかが鍵です。先ほどあったように、問い合わせはどのようなものが多かったのか、何ができて、何ができなかったのかを忘れないうちに書き留めて洗い出しをして、次の大会長に託し、そこでまた進化するというPDCAサイクルのようなものを回す必要があるのではないかと思います。とにかく学会は生き物で進化するのだと思いました。

もう一つは人と人とのつながりですね。ハイブリッド開催でしたので、準備段階での実行委員会では、モニター内での麻生であり、顔のみの認識で初めて実物に対面する方も少なくなかったと思います。実際に会場で会った役員の中には、副会長はそんなに背が大きかったのですね、なんて結構驚いてくれまして（笑）。

そのようなことだけでも、それが一つのきっかけでいろいろな話や情報交換につながったので、やはり最終的に対面は捨てきれないですね。大切な話をしたり、物事をお願いするときは、やはり人の顔やイメージが一致しているからこそメールやWebで依頼しても引き受けてくれるのだらうと思いました。人間は基本Face to Face。とても大事ですね。

今後の抱負としては、まず各地区を回り、たくさんの会員の皆さんとお会いし話がしたいですね。まん延防止等の制限が解除され次第ですが、可能な限り各地区へ顔を出して、人と人とのつながりを大事に会員一人一人とつながっていきたいです。

白木副大会長：みんなも背が高いのは知っている

と思いますよ。

野口副実行委員長：私は2011年の青森から意識して学術大会に足を運んできました。県の役員の方やいろいろな方と顔見知りや知り合いになって、さまざまなお付き合いができるようになったのはすごく財産です。もちろん東京都の技師会の方々も大事ですが、他とのつながりを持てたことはとてもうれしいことですし、楽しかったです。また今後も、それを続けていきたいと思っています。

今回の学術大会はある意味、時期的に恵まれていたと思います。10年前に関東甲信越学術大会をやり、本部開催の学術大会を東京として手伝い、2019年関東甲信越学術大会を白木実行委員長の下でやらせていただきました。その流れがあったので、全国大会を乗り切れたという思いがあります。

ある意味、ずっとアドバルーンという目標設定がきちんとありましたから、それに向けてみんなが志を持って動いていけました。今後また新しい目標設定がこの会に必要ではないかと思っています。先ほど麻生副大会長がおっしゃったように、私も新しい目標設定という意味では、支部・地区からの活性化は、今後、もっと底上げが必要ではないかと思っています。都民に対する公益的な活動に関しても、もっと底上げする部分を考えていきつつ、大きな目標設定をみんなで考え、そのような目標に向かってみんなで歩んでいく設定も必要かと思っています。

市川篤志副実行委員長：私は、野口副実行委員長と同じく、やはり人と人の関わりをたくさん持てたことは自分の中でとても大きな収穫になっていますので、学会はすごいと思っています。今はウィズコロナになってきていますが、自分がセミナーの企画や研修会を開く上で、講師の先生にお願いするのに、これだけたくさんのつながりを持てたので、お願いしやすくなりました。とてもいい場を設けていただいて、本当にありがたかったと思っています。

もし来年度また学術委員長に任命していただけるのであれば、その辺りをフルに活用して頑張っていきたいと思っています。コロナの時代に合った研修会やセミナーを市川重司前学術委員長がやっていたときまでは無理だと思います

が、できるだけ研修会を今以上にやっていきたいと思います。

市川重司実行委員長：あんなにたくさんやらなくてもいいですよ（笑）。よろしくお願いします。

篠原大会長：皆さま、ありがとうございました。それぞれの思いを熱く語っていただきました。先ほども3日間で延べ300名以上の実行委員というお話がありましたが、これだけ多くの方々が学術大会を経験したことは素晴らしい財産だと思います。今後もこの組織は、諦めない、できない理由よりどうすればできるか考える、誇

りを持つ、そして会務を楽しむ組織であってほしいと思います。

組織として70年を超えて、今後の一層の発展のためにも適切な世代交代といいますか、継承を推進することが重要だと思っています。今後も短期、中期の施策を進めながら、80周年、90周年を見据えた組織運営をお願いしたいと思います。本日は皆さま、ありがとうございました。

一同：ありがとうございました。



本座談会開催場所、公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センターにて

日本診療放射線技師連盟 2022 No. 1 ニュース (通巻No.70)

発行日 令和4年1月18日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も日本診療放射線技師連盟の活動にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ① 1月5日(水) 小淵優子衆議院議員へ年始挨拶
- ② 1月11日(火) 厚生労働省、国会議員へ年始挨拶
- ③ 1月12日(水) 遠藤利明衆議院議員へ年始挨拶
- ④ 1月12日(水) 畦元将吾活動報告会の開催
- ⑤ 1月14日(金) 三ツ林裕巳衆議院議員へ年始挨拶

連盟活動報告



事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。
2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟

2022年度関東甲信越 診療放射線技師学術大会



【会期】2022年 6月25日(土) 26日(日)

【学会会場】Gメッセ群馬(予定)

【主催】

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会	公益社団法人 日本診療放射線技師会	一般社団法人 千葉県診療放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会		公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会		一般社団法人 長野県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会		一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会		公益社団法人 東京都診療放射線技師会

大会長 後閑 隆之

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会会長

実施 一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

会員動向

2021年4月～2022年1月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2020年度末集計	2,239	97	15	44	145
2021年 4月	2,259	23	5	4	4
2021年 5月	2,270	12	4	3	2
2021年 6月	2,286	20	0	1	3
2021年 7月	2,300	15	1	0	2
2021年 8月	2,328	27	4	3	0
2021年 9月	2,351	24	4	3	2
2021年10月	2,375	27	2	2	3
2021年11月	2,384	11	3	1	4
2021年12月	2,392	14	0	2	4
2022年 1月	2,386	5	0	1	10

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。
医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付
けております。

- ☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させていただきます。
- ☆ ご登録・ご相談は無料です。
- ☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。
- ☆ 受付時間 平 日 9:00 ～ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

News

3月号

会長挨拶

新年明けましておめでとうございます。本日はハイブリッド開催だが、対面の方は雪の中お集まりいただき感謝する。例年開催される新春の集いは昨年に続き、本年も中止とさせていただく。新年度に向けた準備を進めていると思うが、本年もよろしくお願いする。東京都診療放射線技師会と日本診療放射線技師会の役員改選の年でもあるので含めてよろしくお願いする。新型コロナウイルスのオミクロン株は毒性が低いといわれているが、感染力が強いため感染拡大が危惧される。従来通り、安心安全の医療を支える重要な一員として頑張っていたきたいと思う。本日もよろしくお願いする。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

9月初めに東京都で開催される予定であった告示研修のファシリテーター養成講習会が12月18・19日に山梨県で開催された。今後、南関東地域の各都県での告示研修を推進していく。

日 時：2022年1月6日（木）
午後7時00分～8時00分

場 所：インターネット回線上

出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、
宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一

出席監事：野田扇三郎、葛西一隆

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地区委員長）、小林隆幸（第4地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、中西雄一（第8地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、小野賢太（第12地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：篠原健一（会長）

司 会：白木 尚（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

麻生副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他報告

・SRTAについて

本年度は東邦大学医療センター大橋病院の皆川さんと小野第12地区委員長の2演題をSRTAに登録した。後日、日本語の抄録を配信する。

議 事

1) 事業申請について

①第131回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ：「新しい技術の紹介－可搬型FPD搭載新型X線TVシステムと最新アプリケーションの紹介－」

日 時：2022年3月2日(水) 19:00～19:40

場 所：Web開催

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

※配布資料に記載されたテーマを変更し、上記テーマでの申請とする。

②2021年度SR推進委員会研修会

テーマ：災害対策研修会「緊急被ばく医療研修会－3.11を風化させない－」

日 時：2022年3月13日(日) 13:00～16:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

※COVID-19の状況によって中止を考慮する。

2) 新入退会について

12月：新入会14名、転出2名、退会4名

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第3地区

①なぜ施設長・技師長へは直接の依頼は届かないのか。診療報酬に関係する大事なアンケートであれば日放技会長名で施設長・技師長に依頼をするのが筋ではないかと思います。若い地区委員もいますので直接、技師長に頼みづらいです。技師長側も何故、会長名で来ないのか不信感につながり咎められた委員もいます。その施設は結局、回答を止めています。

篠原健一 会長：

JARTに意見を上げたいと思う。

江田哲男 厚生調査委員長：

厚生調査委員会のアンケートで、以前地区委員の方々に地区の施設長あるいは技師長をまとめていただくようお願いしたことがあった。現在リストの更新は滞っている。要望があれば厚生調査委員会と地区委員の方々に協力していただき、再度施設長名と技師長名の収集を行いたい。JARTとしては、統一講習会と同様に会誌に掲載し、提出してもらう方法が考えられる。

篠原健一 会長：

JARTが全国各地の技師長名や施設長名を調査するのは不可能である。ただ、施設長あるいは技師長宛であれば送付することは可能である。

江田哲男 厚生調査委員長：

TARTとして、各地区で要望があれば施設長名と技師長名の収集をするのはいかがでしょうか。

②技師会会員がいる施設に連絡する際には、メールアドレスを使用していいのか教えていただきたいと思います。新入会時にメールアドレスが記載してありますが、そのアドレスを使用していいのでしょうか？ 使用していいのであれば会員のアドレスを教えていただきたいと思います。

篠原健一 会長：

個人情報保護の問題がある。

江田哲男 厚生調査委員長：

技師会入会時にメールアドレス使用に関する文言はあるのか。

野口幸作 庶務委員長：

メールアドレス使用に関する明記はされていない。過去に第11地区で申込書の原本でやり取りしていた前例はあるが、新入会時のメールアドレスを使用したことはないため、まずは規約を作る必要がある。ただ、地区会員全体のメールアドレスを配布するのは非常に困難である。

平瀬繁男 第3地区委員長：

以前のような対面の研修会であれば、終了後のアンケートでメールアドレスを広報などに使用可能か回答してもらっていたが、新型コロナウイルスの影響で現在は困難な状況であるため質問させていただいた。

千葉利昭 第11地区委員長：

理事会を研修センターで行っていた頃は、自分の地区の新入会員のメールアドレスを基に、本人に技師会の情報を送ってよいか確認するメールを送っていた。過去に拒否する方はいなかった。

白木 尚 副会長：

TARTとして会員のメールアドレスはデータベースで持っているのか。

野口幸作 庶務委員長：

以前、データベース作成時にTARTのメールアドレスを配布したことがあったが、現在は更新していない。JARTで各会員のメールアドレスを配布することは不可能である。

白木 尚 副会長：

専門部委員会で改めて検討したい。

③以前にお願いした会員名簿もいただけたらと思います。

野口幸作 庶務委員長：

本日理事会で事務所に参集した方には直接配布する。事務所にはUSBにデータを入れて、メールボックスにパスワード付きで保管するよう準備するので、事務所に来た際に回収していただきたい。

④技師会会員がいない施設名のデータをお持ちでしたら

いただきたいと思います(ビル内クリニックなど)。

野口幸作 庶務委員長：

技師会会員がいない施設のデータは持っていない。

連絡事項

関 真一 経理委員長：

2年間会費滞納者リストをメールで送ったので各委員長は対応をお願いしたい。日本診療放射線技師会のHPでお知らせしているが会費未納による除籍者に対し債権の回収委託を2022年4月1日付で開始する。会員より問い合わせが来た場合には対応をお願いしたい。

高野修彰 渉外委員長：

来年度の総会で表彰する小野賞、特別功労賞、功労賞の推薦を今月中受け付けているので、各委員長の方はよろしくをお願いしたい。

渡辺靖志 SR推進委員長：

1月28日(金)に19時からオンラインでSR推進委員会より災害対策の研修会があるので広報をよろしくをお願いしたい。

石田秀樹 将来検討委員長：

現在の進行状況は70周年記念事業の冊子印刷の校

正を行っている。配送は3月を予定している。

野口幸作 JART教育委員：

統一講習会は今まで理事会承認を取って広報していたが、今回からはJART事業として連絡事項をお知らせしていく形にしますのでご承知いただきたい。

篠原健一 会長：

公益社団法人を管轄する東京都生活文化局より「収支相償」と「遊休財産額の保有制限」についての照会があり、1月28日までに文書で回答することになっている。提出に先立ち、理事会を開催し、審議・承認いただき回答したいと思っている。1月25日に臨時理事会を開催する。

今後の予定について(総務委員会)

全地区から事業計画案をいただいたので、もう一度確認として送るので変更、修正する場合は連絡をいただきたい。承認は3月となる。次年度の予定表を今回の議事録案と同時に配信する。次年度の予定を開放するので事務所使用、研修会などありましたら連絡をお願いしたい。

以上

nihon
medi+physics

お届けするのは「信頼」です。

Since2005 — デリバリーPETのリーディングカンパニーとして人々の健康に貢献していきます。

2005年、私たちが日本で初めてPET検査用放射性医薬品の供給を開始し、以来、10年以上にわたり全国に製造拠点を開設、安定供給体制を整えてきました。人々と明日の医療のために、私たちは、有用な製品や技術の提供を通じてこれからも皆さまの健康に貢献していきます。



半減期が約2時間のPET診断薬は全国11カ所のPETラボで製造され、ほぼ全国をカバーする安定供給体制を整えています。



日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
TEL (03) 5634-7006(代)

弊社ホームページでPET検査について紹介しています。
<https://www.nmp.co.jp>

2021年2月改訂

東放見聞録

季節を感じる

♪もうすぐ春ですね～ ちょっと気取ってみませんか～

♪もうすぐ春ですね～ 恋をしてみませんか～

キャンディーズの名曲「春一番」ですね。自分世代の歌ではなくとも知っている有名な曲です。

さて、皆さんはどのような時に季節を感じますか？ 暦の上はもちろん、食べ物で感じる季節、自然・動植物で感じる季節、五感で感じる季節など、さまざまなところで季節を感じることができると思います。

この記事を書いているのは1月。冬の季節を感じる話を2つほど。

毎年11月頃になると空中をフワフワと飛ぶ白い虫を見たことがありますか？ そうです、雪虫です。雪虫はアブラムシのうち、白腺物質を分泌する腺が存在するものの通称だそうで、全身が綿で包まれたような姿で飛んでいると、まさしく雪が舞っているような光景です。北海道ではこの雪虫が飛ぶと、1～2週間後には雪が降るといわれている冬の代名詞です。東京では見かけてもすぐ雪が降る訳ではないですが、この光景を見ると、スタッドレスタイヤにはいつ頃履き替えるかなあ～と考えてしまいます。

年明けの連休で湯沢へスキーに行った時のこと、スキー場への送迎バスの中でこんな会話が聞こえてきました。幼稚園くらいの男の子と父親が…

子「埼玉（多分お住まいなのでしょう）はまだ秋なのかな～？」

父「どうしてそう思うの？」

子「だって埼玉は雪が降ってないでしょ？」

父「(少しの戸惑いと間があった後に) 同じ冬でも、雪が多く降る所と降らない所があるんだよ。埼玉は降ってなくても、同じ冬なんだよ。」

子「ふ～ん。そうなんだ～!!」

この男の子は、冬を感じるのは雪なのでしょうね。聞いていた私も思わず微笑んでしまう、そんな暖かいお話でした。

この記事が掲載されるのは3月、暦の上では春ですね。つくしの子が見えますか？ 風が吹いて暖かさを運んできましたか？ もうすぐ春ですね。(←気付いた方はキャンディーズ年代？)

みんなで集まって花見は難しいでしょうが、こんなご時世ですから、1人のんびりとお散歩でもして、春を感じ探してみましよう。せわしい日常では感じられなかった新たな発見があるかもしれません。

Smoked Salmon

東放見聞録

小田○正

皆さんは個人で使用するパソコンのデスクトップ背景は、何にしていますか？ 私は5歳になる愛娘との家族写真を定期的に入れ替え、可愛いなあとニヤニヤほくそ笑みながら自己満足に浸っています。

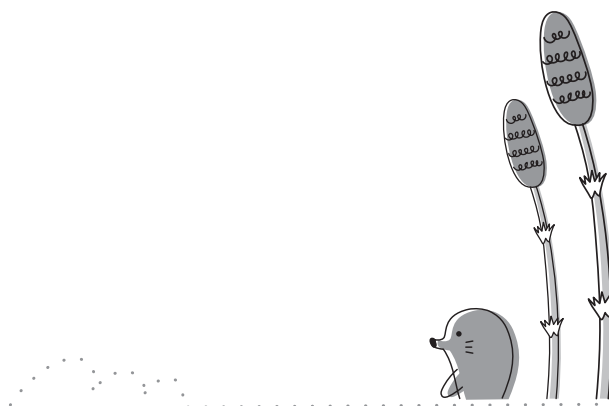
しかし最近はコロナ禍により遠方への旅行を遠慮しているせいか、なかなか家族写真を撮る機会が少なく、過去にデスクトップ背景に採用した写真をローテーションしている。この写真たちは厳正な審査（私だけによる）の上、背景として選ばれるため、人様の前でパソコンを開いても「可愛い」「良い写真だね」と言われることが多い（社交辞令に気付け）。

そんな時、ボーっとテレビを見ていると某保険会社のCMが目映った。♪あなた～に…から始まる歌に合わせ、微笑ましい写真がいくつも流れる有名なあれです。これを見た瞬間、身体は勝手に応募サイトを開き、CMに使用してほしい写真をいくつも応募していた（ちなみにグランプリ10万円… 当たれ～～）。

願懸けなのか、それ以降、小田和正メドレーが家でも車でも頭の中でも流れることが多くなり、なぜか娘も5歳にして小田和正を歌えるようになってしまった。

何が言いたいかというと、娘が可愛いとかそんな親バカな話ではなく、旅行に行きたい。これに尽きる。早くコロナが落ち着いてくれることを祈るばかりです。

P.N 財津○夫のほうが好き



学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2021年度

☆1. 日暮里塾ワンコインセミナー

第131回日暮里塾ワンコインセミナー	Web開催	2022年3月2日(水)
--------------------	-------	--------------

2. 特別委員会研修会

第2回災害対策研修会		2022年3月13日(日)
------------	--	---------------

3. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動		未定
-----------	--	----

2022年度

1. 学術研修会

☆第20回サマーセミナー		未定
--------------	--	----

第23回メディカルマネジメント研修会		未定
--------------------	--	----

☆第20回ウインターセミナー		未定
----------------	--	----

2. 生涯教育

第71回きめこまかな生涯教育		未定
----------------	--	----

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第132回日暮里塾ワンコインセミナー	Web開催	2022年4月27日(水)
--------------------	-------	---------------

☆4. 第22回東放技・東京部会合同学術講演会		未定
-------------------------	--	----

5. 集中講習会

第13回MRI集中講習会		未定
--------------	--	----

☆6. 支部研修会

城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会		未定
---------------------	--	----

7. 地区研修会

8. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会		未定
------------	--	----

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動		未定
-----------	--	----

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

※2020年度新卒かつ新入会者特別優遇あり、詳しくは本誌「お知らせ」を参照

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	令和 年 月 日() ～ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿
公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

受 付 令和 年 月 日
確 認 令和 年 月 日 印

Postscript

SNS、皆さん利用していますか？
最近SNSしか連絡先を知らない、SNSだけの友だちも多いかと思えます。

SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、インターネット上のコミュニティサイトのことです。ユーザーが情報発信できて、ユーザー同士でつながりを持つこともできます。プロフィールや写真の公開、メッセージの送受信、友達検索などの機能があります。有名なものに「LINE」「Facebook」「Instagram」があり、使われている方も多いのではないのでしょうか。

SNSはとても簡便で、スマホ等の専用アプリがあるものが多く、便利なツールです。最近このSNSに助けられたことがあります。技師会のイベント準備で問題が発覚し、メ切的関係で解決までに残された時間が6時間ほどということがありました。その時の相手とは直接メールをしたことがなく、SNSでしかやりとりはない状態でした。ダメ元でお昼頃DM (Direct Message) を送ったところ、なんと1時間後に返信がありました。しかも幸運

なことに午後からはお休みということで、そのままDMのやりとりでメ切までに解決できたということがありました。

SNSの問題点のひとつが、オンライン上のいじめや嫌がらせの横行です。ジェンダーや見た目、性的指向、宗教、障害、政治的信条など、人のさまざまな特質を理由に、いじめのターゲットにされるケースは数多く、憂慮すべき問題となっています。中でも、子どものいじめについては大きな問題です。

もうひとつ、SNSの大きな問題点としては、プライバシーの欠如が挙げられます。相手がSNSのヘビーユーザーなら、ほんの数分にわたってざっと検索するだけで、これまでの投稿から愛読書や勤務先、さらには生まれたばかりの子どもの顔まで、あらゆることが特定可能です。

マイペースで楽しんでいる限り、SNSはとても便利なツールです。その特徴を理解して正しく使っていきたいと思います。

(すえぞう)

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
富士フイルムヘルスケア(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
(株)ジャパン・メディカル・ブランド
日本メジフィジックス(株)

東京放射線 第69巻 第3号

令和4年2月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和4年3月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません
TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一